国際サーヒスシステムメンテナンスニュース

排気ガス規制・Nox法・PM規制などと世間が騒いでいるが、そんな事かまっていられるか!とお考えになっているあなた、そんなあなたでも簡単に出来るメンテナンスをご紹介します。

エアークリーナーの話

車は燃料が無いと動かないという事はだれでもご承知の通りですが、もうひとつの大事なものとして 空気があります。空気が無ければ決して燃料は<mark>燃える</mark>事はありません。

小学生のころ、ろうそ〈にコップをかぶせると<mark>酸素が無</mark>〈なり<mark>火</mark>が消えてしまうという実験をしたと思います。エンジンにおける燃焼もこの通りで、十分な空気が不足すると正常な<mark>燃焼</mark>は起こりません。その事から起きるディーゼル車の一番の弊害といえば黒煙です。

この黒煙の発生を最小限に食い止めるには、エアークリーナーの定期清掃及び定期交換しかありません。

1.エアークリーナーの役目

エアークリーナーはその名前の通り、エンジン内に吸い込む空気を綺麗にする事にあります。 ほこりや砂が混じった空気を吸い込むとエンジン内部のライナーやピストンが異状摩耗したりして エンジン自身の寿命を著し〈縮めます。

2.エアークリーナーの清掃方法(サイクロン型シングルエレメントタイプ)



エンシンはもちろん停止状態で エア-クリーナーのクランプを緩め エア-クリーナーのダストカップを 取り外します。

ウイングスクリュを緩め取り外し エレメントを取り外します。





写真のようにIレメント内側より 圧縮空気で清掃します。 圧縮空気は7Kg/cm2を越えない ようにして〈ださい。 清掃後のIレメントを点検して 〈ださい。ろ紙が破損していたら Iレメントはもちろん交換です。

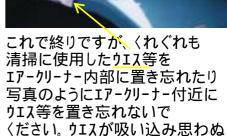


ウイングスクリュは確実に締め付ける事

IアーIレメントを取り付けます。 油煙やススで黒〈汚れている 場合や汚れが酷い場合 時期にかかわらず交換 して〈ださい。



ダストカップを取り付ける前に ダストカップを分解し清掃して 取り付けしてください。 取り付けするとき方向指示マークが 上を向くように取り付けして ください。(マーク付き) クランプは確実に締め付ける。



トラブルの元になります。

* ここに紹介した清掃例は代表的なエアークリーナーの例です。構造により異なる場合があります。 取り扱い説明書等を参照して実施して〈ださい。

昨年の東京都自動車整備振興会の調べによると、エアークリーナー等を定期清掃·定期交換する事により、ディーゼルの黒煙低減に平均14%改善される等の効果あるようです。

車のため、地球環境のため是非エアーエレメントの定期メンテナンスをお願いします。 以上 ご不明な点、分からない事がありましたら国際サービスにご相談ください。